

平成27年 第1回支部記録長会議を開催

～沼津市・ニューウェルサンピア沼津～

平成27年2月21日(土)静岡県審判員・記録員伝達研修会に先立ち、第1回支部記録長会議が開催された。この会議では、残すところあと2カ月足らずとなった平成26年度の総括と、来たる平成27年度の活動計画が県下各支部の記録長に伝えられた。

最初に、平成26年度の県外派遣、日本リーグや全国大会の県内開催、日本リーグ派遣(県外)や海外派遣などの実績が報告された。また、記録委員会内の小委員会での活動や、パソコン研修などでの内容も紹介された。続いて、平成27年度の活動計画として、支部伝達研修の実施、県内・県外大会の派遣予定、記録コンテスト(浜名湖支部)やパソコン研修(掛川支部)、公式記録員認定会などの予定が示された。このほかに、第3種・第2種公式記録員のフォローアップ研修なども取り入れていくことが予定されている。

NPO法人静岡県ソフトボール協会・記録委員会の芦澤忠委員長は、「各大会で経験した記帳業務の中の課題を、改めて確認と改善をしていくように、それぞれの立場で”基本に忠実”かつ”目標設定”をしっかりとすることを願いたい。記帳業務の原点である、公平・正確・迅速は『現場をよく見る』こと。また、競技役員として、審判員・放送員との連携をより密にして大会に臨んで欲しい。」と話した。また、キャリアを築いていく上での重要な能力として、“前に踏み出す力(アクション)”、“考え抜く力(シンキング)”、“チームで働く力(チームワーク)”の3つを挙げ、(公財)日本ソフトボール協会記録委員会の活動方針に沿った取り組みを進めていくことを出席者全員で確認。まずは球春を告げる、第33回全国高等学校男子選抜大会(富士宮市・3月21日～)で、その力が試される。

